

飛鳥資料館 夏期企画展 「第10回写真コンテスト 飛鳥の古墳」

巨石が積み重なる石舞台古墳や美しい極彩色の壁画が描かれた高松塚古墳やキトラ古墳など古代の高い土木技術を示す飛鳥の古墳。しかし、飛鳥の古墳の魅力はこれだけではありません。

瑞々しい棚田の中に横たわる古墳。子供達の声が響く公園に整備された古墳。飛鳥の古墳は、人々の暮らしや農村の景色にとけこみ、飛鳥ならではの情景をつくりだしています。

第10回の写真コンテストでは「飛鳥の古墳」をテーマに、古代の歴史と現代の景観が一体となった飛鳥の魅力を写した写真を公募し、応募作を展示します。飛鳥の古墳の新たな魅力を写真でお楽しみください。

(飛鳥資料館 西田 紀子)



応募締切：7月1日(月)必着

写真展示期間：7月19日(金)～9月1日(日) 休館日：月曜日(月曜日が休日のときは翌平日)

※8月12日(月・振休)、8月13日(火)は開館

来館者投票期間：7月19日(金)～8月18日(日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/asuka/> お問い合わせ：☎0744-54-3561

平城宮跡資料館 夏のこども展示「ならのみやこのしょくぶつえん—土の中の花鳥風月—」

奈良のみやこ“平城京”。そこに住んでいた人々や地方からやってきた人々は、いったいどんな木々や草花を目にし、めで、何を想ったのでしょうか？

空想上の平城京植物園の四季折々のようすを万葉集等や、遺跡から出土する木簡、瓦等の考古遺物、タネや花粉等の自然遺物等をてがかりに考えてみたいと思います。

この夏、奈良国立博物館で開かれている「いのりの世界のどうぶつえん」展とともに、親子そろって古代の人々の自然観に触れてみませんか？そこには、現代人の私たちにつながるものがあるはずです。

(企画調整部 加藤 真二)

The Summer Exhibition for Children at The Nara Palace Site Museum

Gardens in the ancient capital of Nara: The unearthed natural beauty

平城宮跡資料館 夏季児童展《平城京植物園：発掘出土の花鳥風月》

헤이조궁유적자료관 여름 어린이 전시회《헤이조쿄 식물원: 발굴된 화조풍월》



会 期：7月20日(土)～9月1日(日) 休館日：月曜日(月曜日が休日のときは翌平日)

開館時間：9:00～16:30(入館は16:00まで)

ギャラリートーク・ワークショップ：7月26日、8月9日、16日、23日(いずれも金曜日) 各回14:30～(予定)

ホームページ：<https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/> お問い合わせ：☎0742-30-6753(連携推進課)

■ お知らせ

「奈良の都の木簡に会いに行こう！2019」(日本学術振興会 ひらめき★ときめきサイエンスプログラム)

みなさんは木簡(もっかん)を見たことがありますか？ 今年も「奈良の都の木簡に会いに行こう！」を開催します。平城宮跡にある研究所で、夏休みの1日を木簡とともに過ごしてみませんか？ 詳しくは、奈文研のホームページ(<https://www.nabunken.go.jp/fukyu/event2019.html#scienceprogram>)をご覧ください。

日 時：8月21日(水)・22日(木)(同一プログラムで2回おこないます)

募集人数：各日とも20人(締切7月26日。応募多数の場合は抽選になります)

対 象：小学5・6年生、中学生(保護者同伴可)

申 込：日本学術振興会のホームページ(<https://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>)からお申し込みください

■ 記 録

文化財担当者研修

○建築遺構調査課程

2019年6月10日～6月14日

8名

現地説明会

○平城第612次発掘調査 現地説明会

平城宮跡第一次大極殿院地区

2019年6月7日(金)

180名

第124回公開講演会

2019年6月15日(土)

149名

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <https://www.nabunken.go.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2019年6月